

かえるをのんだ ととさん

日野十成再話 斎藤隆夫絵 福音館書店

むかしあるところになかのいいととさんとかかさんがすんでいた。あるひとととさんのはらがいたくなり、おてらのおしょうさまにそうだんすると、「はらのなかにむしがいるからかえるをのむといい」という。

ととさんがかえるをのんでみると、はらがいたいののはなおったが、かえるがあるきまわってきもちわるい。おしょうさまのいうとおり、へび、きじ、りょうし、おにまでのみこんだ。そこでおしょうさまはおにたいじ。さてととさんのはらは、どうなる？

